

平成 24 年度第 2 回三条市教育事務点検評価委員会会議録

- 1 開会宣言 平成 24 年 8 月 21 日（火） 午前 9 時 30 分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 2 階 201 会議室
- 3 出席者 雲尾周委員長、村田洋子委員、浅野雅之委員
- 4 説明のための出席者
長谷川教育長、池浦教育部長、大平教育総務課長、久住子育て支援課長、高橋学校教育課長、嘉代小中一貫教育推進室長、金子生涯学習課長、高野教育総務課課長補佐、大谷教育総務課庶務係長
- 5 傍聴人 0 人
- 6 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 教育に関する事務の点検及び評価報告書について
 - (3) 閉会
- 7 会議の経過及び結果
 - (1) 開会
(長谷川教育長)

それでは皆さん、改めましておはようございます。まだまだ暑い日が続いておりますけれども、委員の皆様には大変ご多忙の中、第 2 回教育事務点検評価委員会にご参集いただきまして、誠にありがとうございました。

先般の 7 月 23 日にいろいろとご指導やご指摘をいただいたところでございますが、本日はその対応等につきましてまとめさせていただいてございます。

またその後、法令に基づいた公表なり、市議会への報告等がございますので、報告案としてまとめさせていただいて、その手続きを行ってまいりたいと考えてございます。

本日も先回に引き続いて、ご指導いただきますようによろしくお願いを申し上げます。
 - (2) 教育に関する事務の点検及び評価報告書について
 - ・ **会議の進め方について**
大平教育総務課長から説明あり
 - ・ **内容について**
嘉代小中一貫教育推進室長、高橋学校教育課長、久住子育て支援課長、金子生涯学習課長、から説明あり
質疑に入る。

(村田委員)

目的の書き方ですけれども、目的のところは「～すること」っていうふうに記載されておりますが、2ページでは「こと」はないですけど、入れても別に問題はないと思いますので、そろえてはいかがかと思います。

(雲尾委員長)

文末を「こと」で統一するということですかね。

(村田委員)

はい。

(雲尾委員長)

「健やかな身体」を伸長させること。

(村田委員)

20ページは「こと」がないですね。どちらでも良いですが。

(雲尾委員長)

20ページの「こと」は、また考えるといたしまして、2ページではいかがでしょうか。「こと」を入れる提案がありました。室長いかがですか。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

基本的な考え方でございますが、小中一貫教育は今ほど説明、ご指摘いただきましたように、このことを成就させるための1つの手段ということで、この小中一貫教育を進めていこうとするものでございますので、目的を間違えなく全体のあるべき姿ということであれば、この「伸長させること」といっても、これはこれで構わないと思いますが、全体的にどう考えたら良いのか、疑問に思う点があったものですから。結果的にはこれを目指すことには間違いないわけでございますので、それでもよろしいかと思えます。

(高橋学校教育課長)

私が言うのも何ですが、ご指摘をいただいた2か所というのは、いわゆるご指示をいただいて修正した部分だと思うのですが、「させる」という表現だと、「こと」というのを入れるよりは「させる」のほうが何か良い感じがするんですよね。これ、感覚の問題なんです。それで結局そのところが、今2か所ご指摘いただいた状態になってしまったと思うので、統一するなら直した方が良いと思います。

(村田委員)

わかりました。こだわりません。

(雲尾委員長)

そうですか。わかりました。目的をどう書くかということはそれぞれあるかとは思いますが、統一した方が良いという考え方もあれば、その場に合わせてこのようにした方が良いということもあるかと思えますので、目的が明確でありさえすれば良いということで、ここはこのままでも良いかなというふうにさせていただきます。

そのほかございますでしょうか。

(村田委員)

評価のところの2ページの下から2行目で、「三条市が進める小中一貫教育の推進の参考にすることができた」という表記があります。参考にすることができた、これは別にそうだな、参考にされたんだなというふうに読むわけですけれども、表現として非常に消極的な表現だと思います。評価Bですので、もう少し積極的な姿勢をお書きになっても良いのではないかと思います。

それから、3ページに「相互研鑽に努めた」という表記があります。努めたことはわかりますが、それで良さが生み出された、結局その教職員のモチベーションがいかに高まるかということでの努力をしたということへの評価がそこに書かれているわけですので、それも含めたモチベーションの向上を図ることが事務事業の目的ですよね。そういうことで書かれている評価ですので、もう少し積極的にどう成果があったとお書きになっても良いのではないかと思います、いかがなものでしょうか。

(雲尾委員長)

評価について2か所、2ページの一番最後の行の「参考にすることができた」と、3ページの一番最後の行の「相互研鑽に努めた」がちょっと弱いのではないかと。これを強めたり、具体的に何か提示したりするようなことは可能でしょうか。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

今ほどご指摘がございましたように、その結果、例えば教育講演会を開催し、小中一貫教育の推進の参考にすることができたということをし少し積極的な表現でということだと思しますので、これによって参加の教職員等の意識の向上並びにそれによる小中一貫教育の推進への反響も書き込めると思しますので、十分、先ほどの相互研鑽も含めまして、もう少し積極的にそのような対応をさせていただければありがたいと思っています。

(雲尾委員長)

それでは、ここでは表現は決まらないけれども、変えるということで。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

はい。

(雲尾委員長)

そのほか、いかがでしょうか。

(村田委員)

3ページの今後の方針のところの真ん中の段落で「実践発表会での整理を踏まえて」の、ここから始まる3行が非常に難解というか、わかりにくい、難しいと思いました。

それで、「整理を踏まえて」というのは結局、成果とか課題を明確にして、その指

導方法の改善を打ち出したということなのかなと思いながら読んでみました。

それから2行目の、「ランドデザイン作成等の具体的な取組を活かす」という表現ですけれども、「等」があるから、ランドデザイン作成のほかにも何かあるのだろうと思うんですけど、ランドデザインを作成するというのが、何かこう、その学校の教育活動の全てを覆うものではないかと思うわけですが、この3行ですね、具体的にどう書けば良いということが言えないのですが、もう1回ご検討いただいて、もう少しわかりやすくしていただければ良いと思います。

(雲尾委員長)

「踏まえて」と「議論をもとに」と、「踏まえて」と「もとに」と2段重なっているのだからわかりにくいという趣旨かと思うんですけども。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

ご指摘に沿いまして、今一度、わかりやすい表現をさせていただければと思います。検討させていただきますでしょうか。

(雲尾委員長)

ほかはよろしいでしょうか。

3ページの右下の写真を入れていただいてわかりやすくなったんですが、24平方センチの長方形に修正していただけないかと。正方形だと1個しか使えませんから。

(村田委員)

写真がいろいろほかにも入っていて、大変良いと思うんですけど、ほかのところでもまた言うべきかもしれません、写真に説明が全くないところもありますので、写真の説明を入れた方が良いでしょう。

小中一貫教育という非常に特徴的なものに対する写真ですので、それによってどうなのかっていうふうな。確かにこういう写真なんだってわかりますけれど。ほかでもそう思うんですけど、ただ写真を出していただくだけではなくて、もう一言何か説明があると良いと思いますが、難しいことでしょうか。

(雲尾委員長)

写真を載せる趣旨ですよ。余白があったからというだけではなく、積極的に載せていただく、説明力を増すための写真としてどういう文言を書き加えていただくかということを検討していただきたいということ。

(村田委員)

はい。

(雲尾委員長)

個別にどれがどうというわけではないけれども、ということですよ。

(村田委員)

はい。小中一貫教育は特にそう思うんです。外国語活動を楽しそうにやっ

すよね。非常に意図をもった教育活動ですので、そういう説明が欲しいと思いました。

(雲尾委員長)

例えば中学校の先生が小学生を教えているというような説明があったりとか。

(村田委員)

ええ、例えばそういうこと。

(雲尾委員長)

そういうようなことがあると、小中一貫教育のところにある意味がわかるけどもということですね。

(村田委員)

はい。

(雲尾委員長)

そういう趣旨を踏まえていただいて、説明なり、写真を差しかえていただくなり、表現等をお願いしたいと思います。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

はい。承知しました。

(雲尾委員長)

それでは1-(1)が終了しまして、1-(2)でございます。4、5ページでございますが、ここについてはいかがでしょうか。

(村田委員)

言葉の書きようなんですけれども、4ページの主な事務事業のところの①の後段ですが「学習指導、授業改善」とございますよね。ほかのところはそういう表現ではなくて、今後の方針では「授業改善・指導改善」で言ってらっしゃいますよね。これを見ると、この上の方も、同じ言葉遣いをあちこちで使うのは国語的には正しい言葉ではないかもしれませんが、これは説明文ですので、「授業改善・指導改善」に入れかえた方がわかりやすいと思います。

(雲尾委員長)

今後の方針、4ページの下から2行目「授業改善・指導改善」、この形で主な事務事業①の中の最後の行も書いてはどうかということですね。統一してよろしいですか。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

はい。おっしゃる通りですので、よろしいです。

(村田委員)

5ページのところの、これは意見とそれについての対応のところでも説明を受けていましたし、既に直されているところなんですけれども、この1行目から2行目にかけての「話し合い活動によるよりよい人間関係の構築」、ここが何かひっかかる

んですよね。

人間関係の構築を図るっていうことが、ここはそういうことじゃなくて学力向上のためによりよい人間関係のもとでなされる話し合い活動が非常に大事だということを行っているのではないかと思いましたが、やはりその話し合い活動とか、筋道を立てて書くことが、思考力を高めて、そして学力向上に非常に大事な糧なんだということをごとこでやっぱり言うところではないかと思うわけです。

それで、人間関係の構築という言葉は、その言葉だけでいうととても魅力的な言葉なんですけれども、ここはいつそ取って、話し合い活動と筋道立てて書くということを押したらどうかと思います。

この人間関係の構築というのが非常に大事なことだということになれば入れる必要があると思いますが、いかがでしょうか。

(高橋学校教育課長)

報告書としては、村田委員がおっしゃったような形がすっきりして良いと思いますが、平成23年度、学校教育課としてこの「よりよい人間関係の構築」というのをずっとこだわってまいりました。それでここへどうしても入ってきてるんですが、今おっしゃったようなすっきりした形がきれいだと思いますので、そのように修正させていただきます。

(雲尾委員長)

そのほか、いかがでございましょうか。

4ページの評価の2行目ですが、「平均を上回り」の前に「全国」と入れていただけますか。

(高橋学校教育課長)

はい。

(雲尾委員長)

主な事務事業の①の部分と、評価の部分、それから今後の方針の中で3か所修正をしていただくということをお願いいたします。

続きまして1-(3)でございまして、6、7ページにつきましていかがでございましょうか。

(村田委員)

評価のところですけど、これ何か私すごく意見を求められたとき言ってきたところなんで、それを受け入れてもらっているのにまたさらに言ってすみませんが、「ものづくり教育について教職員からは」云々のところなんですけど、すごくここで何か表現がもたつくなと思うんですよね。それで、「教職員の」であとは削って、「教職員の評価は」5段階で4.8であり、そしてその次に有効性を評価する声が入っていますので、すぐその声が続くと。数値的な評価と、そういう声があったということで、言葉をちょっと整理した方が良いかと思いました。

それから、7ページの科学フェスティバルはとても楽しそうな写真なので、これ何の実験なのかという説明をぜひ入れていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

説明は入れられそうですかね。

(高橋学校教育課長)

はい。

(雲尾委員長)

押すと中にいるものが上がり下がりするものですよね。圧を高めることで。

それから、評価の部分ですね。「よい学習だったかどうかの」という文言がくどいのではないかということですね。

(高橋学校教育課長)

はい。おっしゃる通りだと思います。

(雲尾委員長)

「教職員の評価は5段階で4.8であり」でございます。

1-(3)、よろしいですかね。続きまして1-(4)食育・体力づくりの充実でございます。これにつきましてはいかがでしょうか。

(村田委員)

内容の一番最後のところに「1学校1取組」という名称を使いとありますが、この名称というのはすごくいろいろなところでもう使われてきている名称ですよ、学校関係者の中だけかもしれませんが。「という名称を使い」というのは、「の取組を」で良いのではないかと思いました。

(雲尾委員長)

確認ですが、8ページは「1学校1取組」で、9ページは「1校1取組」になっていますが、どちらが正しいのでしょうか。

(高橋学校教育課長)

「1校1取組」が正しいです。「学」を取ってください。

(雲尾委員長)

名称の「学」は取ってですね。ということだと、また取組が取れます。

(村田委員)

そうですね。

(雲尾委員長)

まあ、「1校1取組により」ですかね。

(高橋学校教育課長)

そうですね。ありがとうございます。

(雲尾委員長)

「1校1取組」により、各学校で計画的にということですね。

そのほかは、いかがでございましょうか。

(村田委員)

この8ページの下の評価の中の一番下の、体力づくりのことが書いてあるところですけど、この前に、一番最初、前段が「食育では」で始まっていますが、ここも「体力づくりでは」を入れた方が良いでしょう。

それから9ページの、「もう少しで県平均を超えられる項目がたくさんある」という、その前にも「体力づくりでは」を入れた方が良いでしょう。

それから、主な事務事業の①ですけれども、2行目の後ろの方から「学校ごとに、体力で落ち込んでいる部分を把握する。次にその弱い部分の底上げができるように、各学校で」と、すごく丁寧なんですけど、「各学校で」はない方が良いでしょう。その末尾も「計画的に体力向上が図られるよう実践する」とすごく丁寧なので、「計画的に体力向上を図る」というふうに整理されても良いでしょう。

(雲尾委員長)

そうしますと、①の4行目の「各学校で対策を練り」の「各学校で」を取り、文末の「～が図られるよう実践する」を「体力向上を図る」に修正することと、評価の2つ目の段落、今後の方針2つ目の段落それぞれに「体力づくりでは」を入れるということでございます。

あとは、写真ですけども、子どもがつくる弁当の日の写真は良いと思いますが、5分間走と校内マラソン大会はどちらも走る写真になっているのがどうかなと思います。走るのが弱いという判断になればそれはそれで良いんですが、やっぱり各学校それなりの取組で具体的にあればという気はしますので、お願いしたいと思います。

では(4)についてはよろしいですか。

(高橋学校教育課長)

この子どもがつくる弁当の日は朝日新聞のAERAにも取り上げられたりして、大変いろいろ教えていただく中でうまくいっている取組だと思っています。

(雲尾委員長)

では続いて1-(5)でございます。「適応教室指導事業の充実」につきましては、いかがでございましょうか。

(村田委員)

11ページの外部の方からの意見と、それに答えて市が状況説明しているところがありますが、集団適応力という言葉があります。そして市の対応では社会性の育成という言葉で答えておられます。ほぼイコールと考えて良いのではないかなと思って読んだんですけど、それでよいのであれば、何かイコールであるということはどこかで言うか、あるいは括弧つきにするのか、書き換えても良いのではないかなと思います。その方がわかりやすいと思いました。

(雲尾委員長)

集団適応力という言葉が主な意見には書かれているけど、対応状況の中に出てこないということの不整合と良いますか、わかりにくさということですよ。これは、もともとは集団適応力というのは、前の評価シートの中で総合評価の方で、「いじめ認知件数は減少しているが、個々の生徒の集団適応力の向上につながっているものであり、大きな成果である」という文言で説明させていたので、それについて意見を出しました。それが要は、シートにあった言葉が、シートから報告書になった段階で消えてしまったので、一致しないということになっているわけですよ。

(高橋学校教育課長)

今の議論のとおりで、ご意見をいただいて、ここだけ外部の方からの主な意見等というのでわざわざ入れさせていただいたんですよ。それでこの書きぶりに違和感があるんだろうと思います。ほかのシートには外部の方の意見という項目はないんですよ。なので、それを踏まえ、外部の方からの主な意見等というのを入れさせてもらって、要するに外部の方からの意見があってシートの点検が変わってきてるんだという意味では記述されていた方が良いと思うんですが、いじめは集団適応力だけの問題なのかという冒頭だけを削除させていただいて、集団適応能力向上のために具体的にどんなことをしているのかというのだけ残させてもらおうと、いただいたご意見の趣旨及び回答に気持ちがつながると思うので、そうさせていただきたいと思います。

(村田委員)

様々な社会性というものの中に集団適応力というのが、ずっとかかっているんですよ。そう考えて良いんですよ。

(雲尾委員長)

ええ、それはそれで良いと思います。

(村田委員)

そうしたら、「これのために」と言っているのに、「社会性の育成は」と答えるというのは、「集団適応能力を始めとする社会性の育成を」とか、何かを書かないと言っていることに答えてないことになると思うんですけども。やっぱり、集団適応力というのを市の対応状況のところに書き込むことができれば書き込んだ方が良いと思うんですが。

(雲尾委員長)

回答に対して質問をつくり出すというのも変な話ですけども、私がこの意見を書いた段階の趣旨を半分くみ取って、ちょっと半分ずらした回答が逆に言うと合っています。言い方は妙ですけども。「いじめは、集団適応力だけの問題なのか」というのは、要するに、元の書いてあったシートだと、集団適応力つまりいじめの原因というもののとらえ方が浅いのではないかということを書いてはいるんですよ。

だからつまり、集団適応力さえ上げれば何とかなるっていうことじゃないんじゃないかと。趣旨としては要するに、起きていないじめをゼロにするとか、不登校の子どもを復帰させるというマイナス対応の施策だけではなくて、プラスを伸ばすような施策、根本的な治療というものを前面に出すべきではないかということが趣旨なんです。

それがちょっとわかりにくいんですけども。結果的にはそういう答えになってるわけですね。「社会性育成を中核に据え」というのは結局、いじめてる子、いじめられてる子、それぞれを成長させる中で、いじめそのものが起きないように子どもたちの関係づくり、子どもたち自身の成長をはかっていくということで答えているので。そういう意味で、答えが半分ずれて、半分ずれたら答えが正解になったというような感じですか。ですから、そういう意味で言いますと、質問文の方を変えさせていただくと。いじめや不登校に対症療法的に当たっているだけではなくて、根本的にそういうことにならないような、あるいは子ども自身が成長するような施策というのはないのかという趣旨の質問で聞けば、この回答で正しいことになりそうです。私の言った趣旨もどちらかというところとそう言った方がはっきりするので、そういうふうに。回答はこのままにして、主な意見の方を変えさせていただいてよろしいですか。

(高橋学校教育課長)

お願いいたします。

(村田委員)

おっしゃられていることはわかります。だってこれだけ高めれば良いという、そんな単純な問題じゃないんですよ。そしてもっとほかの面もいろいろと児童生徒の中で鍛えていかなくてはいけないものがあるということはとても大事なところだと思います。

(雲尾委員長)

別件になるんですけど、先日たまたま大学で試験をしたときに、いじめ問題について試験をすると、学生たちはみんなやっぱりいじめは体験しているんですよ。見てきたものは大体先生に言うと、先生がいじめている子と、いじめられてる子を会わせて、いじめている子にごめんと謝らせて終わり、それで先生は解決したと思ってしまうっていう。先生は終わって、全く何も変わらないっていう回答がたくさん出てくるんですよ。つまり、そういうふうにいじめている子と、いじめられている子の中で、その一瞬のいじめさえごめんなさいで終わらせれば終わりだという認識だと必ず次のいじめが出てくるし、隠れたいじめはどんどん増えてくるという状況なので。そういう関係自体がもうなくなるような根本的な施策が必要になると思います。

つまり、いじめを生まないっていうよりも、楽しく充実した学校生活を送れるよ

うにするというのが大前提。そちらの方がもっと前面に出てきて、いじめゼロという表現よりも、そもそもあると、あることを前提にしていますんで、いじめゼロという言葉自体がなくなってくると良いなと思っています。

話を戻しますが、そういう趣旨でございますので、その外部の方からの主な意見等々について修正するということがここは対応するということにいたします。そのほかこの10、11ページにはございますでしょうか。

(村田委員)

今後の方針の下から2つ段落がありますが、一番下の段落はその前の段落と同じことを言っていると思いますので、いらないと思います。

(高橋学校教育課長)

すみません、おっしゃる通りです。

(村田委員)

でも、ここで書かれていることをすごく強調されてることはよくわかります。数だけに走るなっていうことは、それはとても大事なことです。

(雲尾委員長)

ここはうまく合わせて、2段落をうまく統合していただきたいと思います。11ページの最後の2段落は、内容の重なりを解消して1つにまとめていただくということでよろしいですかね。

(村田委員)

はい。

(雲尾委員長)

そのほか、これで終わりでよろしいですか。

では12ページ、1-(6)でございます。こちらについてはいかがでしょうか。よろしいですかね。

2-(1)、14、15ページでございます。これについて先ほどの説明の中で14ページの一番下の改革案等についてのお話がありましたが、そのほかにはいかがでしょうか。

ここから写真に説明がなくなるのが多くなりますけど、そこは何かしら修正をもっと入れていただくことがございます。そのほかはよろしいですか。

(村田委員)

ここに書いてある文を読みますと「それぞれの活動において積極的な地域の関わりがより得られるように進めた」とあります。進めたけれども、その進めたことがうまくいかなかったというか、そういうことを述べていると思いますので、そこが進まなかったわけと言いましょうか、そういうものがもう少し書けるのであれば、それがネックになっていたものをお書きいただくと今後の方針のところ、今後それを地域の参画を得られるようにして進めていくのだという言葉がより生きてい

くのではないかと思います。

(雲尾委員長)

評価の部分ですね、「平成 23 年度は、活動場所となる小学校校舎の改築が実施されてる等の理由から新たな小学校での放課後子ども教室の開設は行われなかった」ということによって、実施数が目標に到達せずC評価であるということであると。しかしながら、行われなかったんだけども、一応開設している各所としては関わりがより得られるようにして進めたということで評価が書いてあるので、まあ、文脈全体を見るとC評価に見えないということですかね。

(雲尾委員長)

数値的にはC評価ですが、文脈全体を見るとC評価に見えないということで。

(村田委員)

それなら、C評価にしたわけがあるんだろうなと。

(雲尾委員長)

「子ども教室の開設を行わなかった」で1回切っていただいた方が文章としては良いのかもしれないね。

(久住子育て支援課長)

はい。

(雲尾委員長)

「小学校での放課後子ども教室の開設は行わなかった」よりも、「行えなかった」。

(村田委員)

できなかったんですよね。

(雲尾委員長)

「行えなかった」ということで書いていただければ、そこで切っていただければC評価という雰囲気は出るかと思います。その後は「開設している各教室へは」ということで。

(久住子育て支援課長)

「しかし」という感じですか。

(雲尾委員長)

「しかし」じゃなくても。

(久住子育て支援課長)

「しかし」じゃなくても良いですね。

(雲尾委員長)

そのまま「行えなかった。開設している各教室へは」と、そのまま何も接続詞なしで続けても文章はつながりますので。行えなかったで一旦切っても良いと思います。それだとしかし何もしないように見えるので、それをちゃんと書くということで。そうするとC評価らしくなるのではないかと思います。ということでよろしい

ですか。

(村田委員)

はい。

(雲尾委員長)

2－(1)はほかによろしいでしょうか。

では2－(2)、家庭教育講座でございます。これについていかがでしょうか。

写真の説明等のほか、何かございますでしょうか。ご指摘よろしいですか。

続きまして、2－(3)でございます。「子どもと親の読書活動」につきまして、いかがでございましょうか。

(村田委員)

言葉の問題ですけども、評価のところの真ん中、3行目に「図書館における絵本の貸出数は」とありますので、その次の「貸出増加」「貸出減少」の「貸出」はどちらも取った方がわかりやすいと思いました。増加が見られた、減少が見られたで良いと思います。

(雲尾委員長)

4行目の「貸出増加」の「貸出」と、5行目の「貸出減少」の「貸出」ですね。

(金子生涯学習課長)

「貸出」の部分を削除ということですね。

(雲尾委員長)

「絵本の貸出数は」と冒頭で言っているの、「19冊の増加が見られたものの、大きな減少が見られた」ということですね。

(金子生涯学習課長)

そのように訂正させていただきます。

(雲尾委員長)

そのほかはよろしいですか。

右の写真は上が、これは乳幼児検診ですかね。

(金子生涯学習課長)

そうですね。ブックスタートパックを説明しながらお渡ししているものです。

(雲尾委員長)

ボランティアの方がお渡ししているところということですね。

(金子生涯学習課長)

はい。下はそのブックスタートパックの内容です。

(雲尾委員長)

それが一応、わかるように説明していただくということでお願いします。

(金子生涯学習課長)

はい。説明を付記させていただきます。

(雲尾委員長)

お願いいたします。

では2-(4)「スクールアシスタント制度の充実」についてでございます。これはいかがでございましょうか。

(村田委員)

この今後の方針のところも、私が前回も言って直してもらったところだと思うんですけども、ここで言いたいことは2つあるんですよ。

1つにはその知識とかそういうことだけじゃなくて、もっと気軽にお互い同士の悩みを話すことができる場所を設定するということが1つと。

それから、研修会の開催時期を学校行事と外すという2つのことがあるので、これは2文に書き分けたら良いのではないかと思います。これでもわからないわけではないですが、2つのことを2つきちっと分けて書いた方が良いのではないかと思います。

(雲尾委員長)

「学校行事等も考慮しながら開催時期を定め」という文言が入ることによって、わかりにくくなるということですよ。

あともう1つ、その前の文「講習会・研修会の設定もさることながら」と表現的に重視していないようにも見えますので、「知識や技能習得のための魅力ある講習会・研修会の設定は継続した上で」と変更していただきたいと思います。「設定は継続した上で日頃の悩みや課題を気軽に話ができる場を設定する」が一文目。「またこれらの会の開催時期については、学校行事等も考慮しながら参加しやすい日程で行う」というような形に変えていただけますでしょうか。

(金子生涯学習課長)

はい。

(雲尾委員長)

2-(4)についてよろしいでしょうか。

続きまして2-(5)でございます。これについてはいかがでしょうか。

(村田委員)

主な事務事業の①の後ろの方ですけど、「特色ある教育活動及び学校の活性化を図る」は「特色ある教育活動の推進」という言葉を入れたらいかがでしょうか。

もう1つ、今後の方針のところ、「小中一貫教育推進協議会や学校評議員会の開催を通じて～要望をしっかりと受け止める」と締めてあって、また「必要に応じて学校評議員会を開催し」と文章が始まっていますが、最初の方の「学校評議員会の開催を通じて」のものは、各種行事等その様々な場面で学校評議員会というきちっとした形を取ったものでないということが言いたいのではないかと思います。あらゆるところで要望を受け止める、もちろん小中一貫教育推進会議はその一番大事な会

議であるというふうな書き方をして、そして、今度は必要に応じて以降の学校評議員会はきちっとそういう学校評議員会も必要なんだという受け止めができるようにしたらいかがでしょう。

(高橋学校教育課長)

はい。それでいきます。

(雲尾委員長)

1文目は「学校評議員会」を取り、「各学校に中学校区の小中一貫教育協議会の開催や様々な機会を通じて、地域の願いや要望をしっかり受け止めるよう促していく」ということで、学校評議員会は後段に書いてあるので良いということですね。

(村田委員)

はい。

(雲尾委員長)

あと、評価のところの2行目なんですけど、「評議委員会」とこれだけ「委」が入ってますので、この「委」は取っていただいて、「評議員会」ということで。

それと先ほど①で「特色ある教育活動の推進」と3文字入れるということで、その3か所の修正でよろしいですかね。

(雲尾委員長)

3- (1) ですね。23、24 ページとなりますが、これについてはいかがでしょうか。

(村田委員)

主な事務事業①の「子ども達」の「達」は普通平仮名だと思います。漢字を使うときは「だち」と読むときじゃないかなと思います。そこらはどうなんでしょうか。

(金子生涯学習課長)

平仮名が一般的でしょうか。これは平仮名に変換させていただきます。

(村田委員)

はい。

(雲尾委員長)

そのほかはよろしいですかね。3- (1) は1か所修正でございます。

続きまして3- (2)、25 ページでございますが、いかがでございましょうか。

(村田委員)

評価の1番最初の文ですが、「市民が社会の変化に対応し人間性豊かな生活を送るための課題や市の行政課題、スマートウエルネス三条の推進」が、みんな並列されて、市の行政課題もそこにあるというふうにとれるんですけども、そうではないですよ。スマートウエルネス三条の推進も市の行政課題の中だろうと思うんですけども、市の行政課題というのがすごく強く感じられるのですが。

それから4行目に、ここですごく「いただいた」と丁寧な言葉出てくるので、こ

こは「いただいた」ではなく「もらった」が良いと思います。

(雲尾委員長)

「市の行政課題」についていかがされますか。

(金子生涯学習課長)

そうですね。確かに、スマートウェルネス三条の推進も市の行政課題の1つですね。後段はちょっと置いておいて、2番目のその「市民から参加していただいた」は「市民からの参加があった」に訂正させていただきます。

(雲尾委員長)

「多くの市民からの参加があった」。

(金子生涯学習課長)

はい。戻りまして、「市の行政課題」についてはどうでしょうか、具体的にスマートウェルネス三条も市の行政課題に入っているの、「送るための課題や、スマートウェルネス三条の推進、環境問題など、喫緊の課題あるいは市の行政課題を現代的課題と捉え」というような言葉の位置を変えるのでよろしいでしょうか。

(雲尾委員長)

「喫緊の課題」の後に「市の行政課題」を持っていく。

(金子生涯学習課長)

はい。「喫緊の課題や、市の行政課題を現代的課題と捉え」。

(雲尾委員長)

という方向でよろしいですか。

(村田委員)

その方向で良いと思います。

(雲尾委員長)

そのほか、3-(2)はよろしいですか。

続きまして3-(3)でございます。「学習成果を活かす仕組みづくり」につきましてはいかがでしょう。

(村田委員)

内容の2行目の「活かせる仕組みづくりに努め」は「活かす仕組みづくり」が良いと思います。

それから、評価のところの「今後も更に新たな事業へのボランティア活動を推進したい」というのは取って。それは下の生涯学習ボランティア等の、そういうことを進めていくということがあるし、そこに重なってくるといって、これをどうしたいということは今後の方針のところを書くことだと思いますので、そこは取った方が良いでしょう。

(雲尾委員長)

取るのはどこですか。

(村田委員)

「今後も更に新たな事業へのボランティア活動を推進したい」と。

(雲尾委員長)

ここの部分ですね。これを今後の方針に書く。

(村田委員)

今後の方針には既に、こういうふう読み替えて良いのでしょうか。「生涯学習ボランティア等についても」と書いてありますので、それで重なっているから良いのではないかと。

(雲尾委員長)

まず1点目の「活かす仕組みづくり」ですね。内容の2行目。

(村田委員)

「活かすことのできる」なんのでしょうか。「活かすことのできる仕組み」をつくらなければならないということですよ。

(金子生涯学習課長)

そういうことですね、かみ砕くと。「活かすことのできる仕組み」。

(村田委員)

そうですね。自分が仕組みづくりをするのではなく、その仕組みづくりをするのは、行政の方で仕掛けるわけですよ。

(雲尾委員長)

「活かせる」ではなく、「活かすことのできる仕組みづくり」に変えるということですね。

(村田委員)

はい。

(雲尾委員長)

それから評価の最後の文章「今後も更に新たな事業へのボランティア活動を推進したい」というのは。

(金子生涯学習課長)

それは削除します。

(雲尾委員長)

削除で良いですかね。後はよろしいですかね。

続きまして4-（1）でございます。これはいかがでしょうか。

(村田委員)

評価の中の文面ですけれども、文化遺産の13件についていろいろの手続をしてこうやってたというので、荒沢の出土品を三条の指定文化財に指定したと。そしてほか11件が国の登録有形文化財に登録されたわけですよ。何か、12しかないなと思うんですけども。あとの1つは何があったのでしょうか。

(雲尾委員長)

荒沢の出土品が三条市指定文化財、大崎浄水場事務室等ほか 11 件。

(村田委員)

大崎浄水場事務室等で 12 件なんですね。わかりました。理解しました。

(金子生涯学習課長)

大崎浄水場事務室棟自体は、事務棟を含めて 12 件。

(雲尾委員長)

そのほか 11 件。事務棟が 1 件で、12 件。

(村田委員)

わかりました。

(雲尾委員長)

そこは、「大崎浄水場事務室等を含む 12 件」と書く形で。

(金子生涯学習課長)

「含む 12 件」だとわかりやすく良いですね。ではそのように訂正させていただきます。

(雲尾委員長)

この 4- (1) と 4- (3) もそうなんですけど、市の対応状況で書いたことが、今後の方針にも出てくるのはどうなのかなと思うんですが。どうですかね。書かれても良いと思うんですが、全く同じというのは。市の対応状況の方で詳しく書いて、今後の方針の方ではもう少し簡略に書いても良いのではないのでしょうか。

(金子生涯学習課長)

今後の方針の方で、この内容を簡略化させた文章にするということですね。

(雲尾委員長)

4- (3) もそうです。

(金子生涯学習課長)

そうですね。32 ページにもございますので、修正させていただきます。

(雲尾委員長)

4- (1) についてよろしいですか。

4- (2)、30 ページでございますが、これについてはいかがでしょうか。もともと特記事項はないところでございますが。

(村田委員)

評価のところ、「開発予定に伴う照会件数は年間 82 件あり」とあるんですけど。

「23 年度には 82 件あり」とか、いつも 82 件あるわけではないと思うので。それほどたくさんあるということはわかるんですが、年度を入れた方が良いと思います。

(金子生涯学習課長)

そうですね。「23 年度では」。

(雲尾委員長)

平成 23 年度で 82 件ということですね。これは、増減はそれぞれあるということですか。

(金子生涯学習課長)

そうですね。照会があっても、そこは遺跡ではありませんというのが回答のほとんどなんですけど。増減はございます。

(雲尾委員長)

これ、その開発予定だけでも照会しない人もいるということなわけですよ。それがちゃんと照会してくるようになったという趣旨はありますよね。でも、黙って開発する人もいるということですか。

(金子生涯学習課長)

いや、基本的にはそれはいいです。遺跡でないところは届け出なしに開発してもらってもよろしいんですけども、遺跡としての疑わしいところは照会をもらうことになっています。

(雲尾委員長)

そういう意味では、この 82 件というのは遺跡の可能性のあるところの方はほぼ 100% 来てるという趣旨ですかね。

(金子生涯学習課長)

そうですね。プラス大規模開発。

(雲尾委員長)

大規模開発で、多分大丈夫だけど一応照会ということで。

ということで 4 - (2) はよろしいですか。

では 4 - (3)、31 ページ、32 ページにまたがります。先ほども申しましたように市の対応状況については、2 行しかないのをさらに簡略化するのは難しいですが、全く同じ文なので多少、市の対応状況の方を詳しいままにして、今後の方針の方を少し簡略にさせていただくという変更を 1 つお願いいたしますが、そのほかに何かございますでしょうか。

(村田委員)

32 ページの今後の方針のところの、三条再発見事業の「鍛冶の発祥」とか「小路の由来」というのはもう事業名だと思うんですけど、それでカギ括弧をつけた方が良いと思います。

(雲尾委員長)

これは事業名ですか。

(金子生涯学習課長)

「鍛冶の発祥」や「小路の由来」ということではございますか。これは事業名ではなくて、三条の鍛冶の発祥を調査する事業であるということですか。

(村田委員)

どこかで、カギ括弧をつけておられましたよね。

(金子生涯学習課長)

ああ、そうですか。

(村田委員)

28 ページのふるさと三条再発見調査、そこでカギ括弧がついているんですけど、でも別につけなかったからわからないというわけではなくて、つけた方が長い文の中でも読みやすいと思いました。

(雲尾委員長)

「鍛冶の発祥」、「小路の謂れ」。「小路の謂れ」は、こちらは「小路の由来」になっているんですね。

(金子生涯学習課長)

そうですね。意味的には同じで、事業名ではないですけども。

(雲尾委員長)

4－(1)の方ですね。28 ページでは、これは事業名ではないけれども、わかりやすくカギ括弧をつけたということなんですね。28 ページだと「三条再発見調査」となっていますが。

(金子生涯学習課長)

「調査」になっていますね。「再発見調査」で統一させていただきます。

(雲尾委員長)

32 ページの方を変更するということですね。

(金子生涯学習課長)

はい。

(雲尾委員長)

そうすると、「鍛冶の発祥」や「小路の謂れ」で、こちらも合わせるということですね。

(金子生涯学習課長)

「小路の由来」の方がわかりやすいから、28 ページの「謂れ」を「由来」にしてください。

(雲尾委員長)

28 ページの主な事務事業③の方を「由来」に直し、32 ページの方では、これはカギ括弧を両方つけるということですね。「鍛冶の発祥」と「小路の由来」にカギ括弧をつけると。

ということで4－(3)ですが、ほかはよろしいでしょうか。

33 ページ以降は委員会の活動等でございますし、37 ページはこの会議のものでございます。この点については特によろしいですかね。

全体を通して何かお気づきの点等ございましたら聞かせていただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。それぞれの部分で書かれたということで。

(高橋学校教育課長)

20 ページのスクールアシスタント制度のことなんですが、先ほど文末は「こと」にすることが良いというご意見をいただいたところなので直すことについてお諮りしたいんですが、目的ですが、「教職員の時間的ゆとりを生み、子どもたちと触れ合う時間が増加すること」ということでよろしいでしょうか。

(雲尾委員長)

そのこと自体は良いんですが、そうすると結局、評価指標が、まあここには載ってないので良いんですけども、要するに先生方が子どもたちと触れあえる時間がどれぐらい増えたかというような指標が出て来ないと目的と合わなくなるという問題も生じてきますが。このできあがった状態だと何とも言えないんですけど。

(高橋学校教育課長)

そうですね。

(村田委員)

ここだけじゃなくて、一番最初の一体校のところも「させる」というのがあって、そのままでも良いわけですので。こだわらないで、そういう問題も発祥しますので、前のおりで良いと思います。

(高橋学校教育課長)

そういうことでお願いいたします。

(雲尾委員長)

それでは変更なしということでよろしいですかね。

(金子生涯学習課長)

少し訂正させていただきます。

(雲尾委員長)

はい。

(金子生涯学習課長)

先ほど「ふるさと三条再発見調査」と申し上げましたけど、「ふるさと三条再発見事業」に統一していただきたいと思います。

(雲尾委員長)

そうすると、28 ページの方を直すということでしょうか。

(金子生涯学習課長)

はい。28 ページを直させていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

③を「三条再発見事業」にすると。

(金子生涯学習課長)

32 ページのこれはこのままで。カギ括弧はつけますけど。

(雲尾委員長)

そのほかよろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは意見等をお出しいただいたと思います。それでは閉会というところでもよろしいですかね。

(浅野委員)

その他で聞いて良いでしょうか。

(雲尾委員長)

ではその他で、どうぞ。

(浅野委員)

こういう評価委員会のこのような報告書というのは、全国の市町村でこういうようなことは行っている、まず作成自体は行っているんですか。

(池浦教育部長)

平成 20 年度に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、教育に関する事務の点検及び評価の実施が義務づけられました。その中で第三者の方からこういった評価をいただくことということになっています。やり方につきましては各自治体等でバラバラでございまして、私ども三条市では非常に丁寧に実施しており、理想的な形でやっていると思っています。

それから行政評価という、大きな仕組みがありますので、その中で行っているのでも、それをもってかえるというところもございます。

義務づけられているのは市議会に対してしっかりと報告をする。さらには市民に公表する。これについてはどの自治体も必ず行っているところでもあります。

(浅野委員)

前向きな資料のとらえ方として、このような資料があると大体やっている事業というのがある程度、私みたいな素人でもわかりやすいので、他市町村にある良い事業で、三条で実施していない事業があれば、そういう事業を検討するというので 1 つのよい資料になるのかなと思います。

各市町村と横のつながりというのはやっぱりあるものですか。ほかの市町村でこのようなものを行っているんだけど、三条で例えば取り入れていこうとか。

(池浦教育部長)

これはいろいろな行政、自治体の仕組みそのもの自体でいろいろなケースがあります。特に人間同士と同じように、つき合いの良い市もあれば、余りつき合いのない市もあるというのが実態です。

その中で情報交換を非常にしやすい市もあります。全体としては主管課長会議などが年 1 回や 2 回ありますので、そこで情報交換をしているんですが、具体的にこういったもの自体をテーマとして行っているというのは今のところないと思っています。

すので、そういったいろいろなきっかけの中で、お付き合いの中で情報交換なされていくというのが今の状況です。

(浅野委員)

では、このような評価シートとか、こういう報告書というのは市町村で行ってれば取り寄せて、またいろいろな検討をするってことは可能なんですね。わかりました。

(池浦教育部長)

新規事業や、いろいろなアイデアというのは、当然私どもも常日頃持っていますし、それから他市の状況や何かも、気づきがあったときにはそれに対して調べているということはやっています。ただ現実問題として、そういったものは予算みたいなものも出てまいりますので、なかなか私どもが良いと思ってもそれがすぐ事業化できるかという点ですね、またそこでも1つのハードルがあるということをご理解いただきたいと思います。

(浅野委員)

はい。ありがとうございます。

(雲尾委員長)

前回いただいたスケジュールですと、今日のものをもとに24日の教育委員会定例会に入れるということになっていますが、その予定です。

(大平教育総務課長)

28日に教育委員会が変更になりましたので、28日の教育委員会に諮りたいと思っています。今ほどいただいた意見を修正させていただいてお送りさせていただきますので。

(雲尾委員長)

一応確認した後で28日の教育委員会定例会に提出するということですか。

(池浦教育部長)

本日修正したものをお送りします。

(大平教育総務課長)

今日の修正事項をまとめてお送りさせてもらって、28日の教育委員会に諮り、その後、三条市議会に報告、提出させていただくとともにホームページに掲載させていただきます。

(雲尾委員長)

これはまた29日に市議会に提出する、9月16日に広報さんじょう等は変更なしでしょうか。

(大平教育総務課長)

変更なしです。29日がずれるかもしれませんが、9月議会の前に出したいと思っています。

(雲尾委員長)

よろしいでしょうか。ありがとうございました。それではほかになればこれで閉会といたします。

(池浦教育部長)

今回も長時間に渡りまして、内容の濃い、密度の濃いご指摘をいただき、本当にありがとうございました。今回、4年目になりますので、私どももだいぶ精度が上がってきた中で、あまりご指摘はいただかずスムーズに終わるかなというふうに思ったんですが、今回はお詫びを申し上げなければいけないなというふうに思っています。少し私どもの報告書の精度が少し悪かったなと反省をさせていただきましたし、また細かいところのご指摘についてもごもっともだと改めて思うことも多くございました。

そんな意味で大きな気づきを今回もいただきました。この1つをまた大きな財産とさせていただく中で、より良い形として、先ほど申し上げましたが、市議会、それから市民への公表をしていきたいと思っています。

本当にどうもありがとうございました。

(3) 閉会 午前11時20分